

8.6 緑

8.6.1 調査事項

調査事項は、表 8.6-1 に示すとおりである。

表 8.6-1 調査事項

区 分	調査事項
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地上部緑化として、約11,000m²の範囲に地上部緑化を行う計画としている。 ・地上部緑化として、落葉広葉樹（エノキ、オオシマザクラ等）、常緑広葉樹（クロガネモチ等）、常緑針葉樹（クロマツ等）の高木を植栽する計画としている。また、防風植栽として常緑広葉樹（タブノキ、クスノキ）、常緑針葉樹（クロマツ）等を植栽する計画としている。 ・既存樹木については伐採予定であるが、樹木調査により樹木の状況確認を行った上で、移植等について検討する。 ・植栽樹種は、計画地北側の「海の森公園(仮称)」に植栽されている樹種を考慮し、植栽地の環境に適した在来種を植栽する計画としている。 ・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。 ・植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理する。 ・艇庫棟の屋上の一部には、屋上緑化を行う計画としている。

8.6.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

8.6.3 調査手法

調査手法は、表 8.6-2 に示すとおりである。

表 8.6-2 調査手法

調査時点	工事の施行中及び終了後（令和元年6月）とした。
調査期間 ミティゲーションの実施状況	工事の施工中の適宜とした。
調査地点 ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法 ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。

8.6.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.6-3 に示すとおりである。

表 8.6-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・地上部緑化として、約11,000m ² の範囲に地上部緑化を行う計画としている。	大会開催前には、海の森公園（仮称）と一体となった約7,200m ² の範囲において、高木・中木・低木の植栽を行うとともに、艇庫棟屋上にも緑化を行い、工事前を上回る緑の量を確保した。
・地上部緑化として、落葉広葉樹（エノキ、オオシマザクラ等）、常緑広葉樹（クロガネモチ等）、常緑針葉樹（クロマツ等）の高木を植栽する計画としている。また、防風植栽として常緑広葉樹（タブノキ、クスノキ）、常緑針葉樹（クロマツ）等を植栽する計画としている。	地上部緑化として落葉広葉樹（エノキ、オオシマザクラ等）、常緑広葉樹（ヤマモモ等）、常緑針葉樹（イヌマキ等）の高木を、防風植栽として常緑広葉樹（タブノキ、クスノキ）、常緑針葉樹（クロマツ）等の植栽を行い、工事前に比べてより多様な樹種や質感を持つ緑を創出した。
・既存樹木については伐採予定であるが、樹木調査により樹木の状況確認を行った上で、移植等について検討する。	既存樹木の生育状況や海の森公園（仮称）に生育する樹種等を考慮し、新たな高木 86 本、中木 1,089 本、低木 3,347 株の植栽を行い、緑の量の早期発現に努めた。
・植栽樹種は、計画地北側の「海の森公園（仮称）」に植栽されている樹種を考慮し、植栽地の環境に適した在来種を植栽する計画としている。	植栽樹種としてヤマモモやエノキ等の在来種を採用し、海の森公園（仮称）との連続性に配慮した緑を創出した。
・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。	高木・中木・低木の生育に十分な植栽基盤（土壌）を整備し、良好に生育する樹木等を創出した。
・植栽した樹木は、定期的な灌水、除草、剪定等により適切に管理する。	植栽樹木の定期的な灌水、除草を行うほか、春季から夏季にかけて剪定を行い、樹木の良好な生育状態の維持に努めた。
・艇庫棟の屋上の一部には、屋上緑化を行う計画としている。	艇庫棟の屋上には、サツキツツジ、マツバギク、コウライシバ等が生育する、約 385m ² の緑化を施し、緑の面積を計画どおり確保した。